

会報

みどりのひろば

発行

第43号

平成31年3月

平成31年3月現在

352団体

公園緑地愛護会報 / 前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所
前橋市六供町 1420
TEL 225-2116
FAX 225-2117



新元号に向かつて

会長 井上 廣志

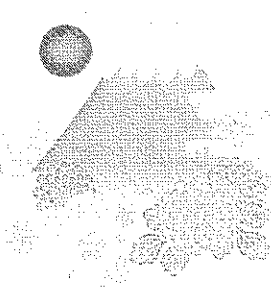
会員の皆様お健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

今年には平成最後の年明けと言う事で平成三十年を振り返り特別な思いで新年を迎えられた事ではないでしょうか。四月一日に新元号が発表され五月一日より皇太子さまが天皇陛下になられ全国民が心よりお祝いする事でしょう。

さて昨年は全国で記録的猛暑が続き大阪北部では最大震度六弱の大地震が有り小学校四年生の女の子供が倒れたブロック塀の下敷きになり尊い命が亡くなると言う悲しい事が有りました。西日本では記録的大豪雨で多くの人が被害に遭い、北海道では震度七の大地震に見舞われ甚大な被害が出た様です。清水寺の総長が災と一文字を書かれたほど災害の多い年でも有りませんでした。今年には災害の少ない年であってほしいものです。

連合会の事業として視察研修を十月三十日と三十一日会員三十七名事務局二名計三十九名で福島県白河市南湖県立自然公園と鶴ヶ城城跡公園(会津若松市)の二ヶ所を視察研修して参りました。一日目は白河市南湖県立自然公園を視察しました。名君で有り茶人、又優れた作庭家でもあった松平定信により享和元年(一八〇一年)溜池として周辺の田を潤す機能や異国船来航の増加に伴う警備に備えた操船訓練の目的も有ったとされています。南湖周辺では十七の景勝地を設け、今では家族連れや若人達も一日中楽しめる日本最古の公園だそうです。二日目は鶴ヶ城城跡公園を訪れ、昔の面影を偲びつつ視察して参りました。難攻不落の名城鶴ヶ城は戊辰の戦役で新政府軍の猛攻の前に籠城一ヶ月、城は落ちませんでした。至徳元年(一三八四年)葦名直盛が初めて館を築き改修を経て天下の名城となったそうです。又一日目は二本松菊人形、二日目は飯盛山へ十九名の若い白虎隊の少年が命を絶つ

た場所から三キロ離れて居る鶴ヶ城を見て帰りました。大変楽しく有意義な視察研修でした。今年も多くの会員の皆様の参加をお待ち申し上げます。結びに連合会への引き続きのご協力を心よりお願い申し上げます。併せて皆様のご健勝を祈念し挨拶と致します。



◆公園緑地管理について

朝日町2号公園愛護会

会長 北爪 靖夫

担当になり五年、除草剤は使いたくないし、美観を損ねるし、ぶとく厄介な雑草の防除に悩まされてきました。

そんな時に次のことが書かれた本に出会いました。

上農（優れた農家）は草を見ずして草を取り、中農は草を見て草を取り、下農は草を見て草を取らず。

つまり、田畑に「草が生えた

のを見るか見ないうちに草を取るのが上農」「草が生えたのを見てから草を取るのが中農」「草が生えたのを見てても草を取らないのが下農」という意味です。

今回から三月より公園の敷地を十数ブロックに分割して、地面の草が生えていなくても全面耕し、石ころは拾い集め大きめの石は掘りおこしました。十一月まで毎年一回全面耕したところ、一月現在ほとんど草が生えていない状況です。

◆「みどりのひろば」

利根橋公園愛護会

会長 後藤 茂

この公園の清掃は、年間を通して毎月第一火曜日の午前中、グラウンドゴルフの愛好会の方々で行なっております。

辺りの花壇には、チューリップなどを植え楽しんでます。

今年は、別の花も皆で植え綺麗にしていきたいと考えています。

秋は、落葉で、ご近所さんに迷惑をかけぬ様、更に時間を掛け、清掃回数を増やす努力をしています。いつでも皆さんに親しみやすい公園を維持していきたいと思えます。



◆愛護会と老人クラブの連携

上大島町愛護会

会長 湯澤 和美

上大島町公園は、町の北端に位置し、木工団地に隣接している中規模の公園ですが、大木の落葉樹が中心で、秋には大変苦労しています。また、樺、樫、銀杏、山茶花、紅葉、藤棚等々種類も多く特に夏季には日影が多く利用する方にとって大変助かっています。また、五十坪程のスペースを花壇として活用し、四季を通して花を楽しめるようにしています。園内の遊具については、滑り台、砂場、木馬がありますが、残念ながら利用者には少ないようです。

主な利用者は、近隣住宅の親子（散歩）小中学生（サッカー等）近隣企業の社員（昼食時の休憩）等です。町内のグラウンドゴルフ愛好会の練習にも利用されており、練習日は毎週二日と他の利用者に配慮し、月曜日と木曜日に設定し、時間は朝八時から十一時三〇分までとしています。

〈具体的な活動〉

基本的には、愛護会と地元老人クラブとの協力で活動しています。継続させるために終了後、お茶を飲みながら雑談を交え懇

親を図っています。老人クラブ単体での活動は、毎週二日のグラウンドゴルフ練習前に公園清掃や、遊具の清掃を適宜行っています。

愛護会、老人クラブの共同活動は、花壇の管理を、四月に春まき草花の植え付け、六月に殺虫剤散布、十一月に秋植え球根の植え付けを行い、七月に木瀬中学校生徒によるクリーン作戦への協力、十一月、十二月に適宜、落葉の収集を行っています。

大木の剪定とトイレ清掃は市の対応が良く、大変助かっていますが、園内での犬の糞の放置が目立ちます。対策として目についたら直ぐに片付けることで、相手も気付き減少してきました。





鶴が谷町愛護会

会長 眞下 功

*愛護会平成五年七月二十日設立、私平成二十年七月に愛護会に入り町内中央に、宮川が有り川沿いに宮川花壇ロード(四〇〇m)造りを十年計画し、造成整備始める。

*会員の皆さんとボランティア活動
パーゴラテラスのベンチの板張り
大公園・小公園のベンチ塗装
小公園内七か所の凹みに土入れる。

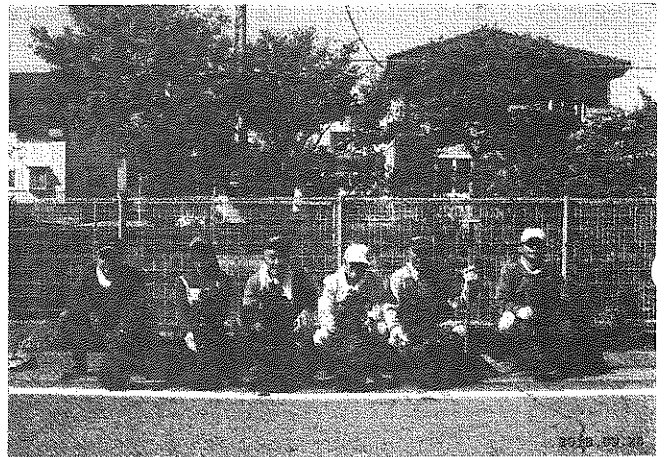
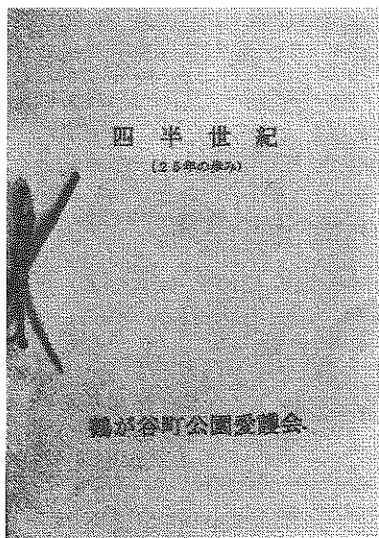
トイレのドア修理 その他
*四年目から、大役をまかされる。自慢の出来る「宮川花壇ロード」造り始める。公園花壇の美化活動「ふれあい花壇」小公園に造る。つるがや花・はなまつりの開催「花のライン」花壇ロードに造る。

*宮川花壇ロードに花木植える。
アガパンサス、ヤブラン、紫陽花
芝桜、ジャマンアイリス、吉祥草
南天、球根数種百株以上を植える。
今年、サツキ、久留米つつじ、ド

ウダンつつじ百五十八本を植えて自慢の出来る「宮川花壇ロード」が二十五周年に間合い完成しました。是も自治会の応援と会員の皆さんのボランティア活動のおかげです。感謝を申し上げます。
*愛護会は、設立二十五周年で四半世紀 誌25年の歩みを発行

*永年巨り尽力して頂いてる
公園管理事務所、公園緑地課
公緑愛護連合会、前橋土木事務所
勢多農高校に感謝申し上げます。
これからも公園美化花壇緑化活動頑張つてまいります。
愛護会一同

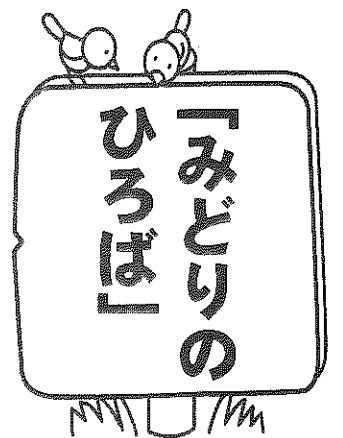
・人と環境に優しい町づくり・花と緑の美化運動・きらり輝く協働の町づくり事業



H 30年9月28日
宮川花壇ロードに
サツキ・くるめつつじ・ドウダン
158本植える。

石倉町緑地愛護会

会長 後藤 茂



石倉町緑地では、春は桜、初夏には紫陽花の花が満開に咲き乱れ地域の自慢となる場所です。毎年地域の方々で、枝の剪定や雑草刈りを行い、常に一定の清掃を心がけております。又、今年度は町民有志により、階段状の花壇の雑草刈り、土おこし等をして、その場所にチューリップの球根や花の種を植えたので、来年度は今までになく、花が咲きほころぶと思えます。しかし幾つかの心配事があります。

- 一、桜の樹が古木となり枝が折れやすい
 - 一、春になると色々な害虫発生
 - 一、世話人の高齢化
- しかし何組かの夫婦により、道具を使つての清掃が行われ、その活動を中心に町内の有志と共に、いつも綺麗な公園を心がけていきたいと思えます。

『我が町唯一の緑地』

日輪寺緑地愛護会

会長 天野 健次

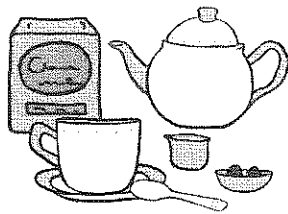
日輪寺緑地は南橋公民館の北側に隣接しており、面積は〇・一五haと小規模な緑地です。この緑地は日輪寺に存在する唯一の緑地です。

緑地の花壇は長寿会の一部の会員によつて維持管理されており、毎年四月初旬には前年に植えたチューリップとパンジーが咲き春の訪れを告げます。四月下旬には枯れたチューリップの花柄を摘み除草後肥料を与えます。五月下旬にはパンジーを処分し、チューリップの球根を掘り上げ、肥料を撒き花壇を耕します。六月中旬には花の植付をします。今年はマリーゴールド、サルビア、ペゴニア、向日葵、スターチス、ケイトウ、百日草で二〇〇株以上になりました。十一月には保管していたチューリップの球根とパンジーを植えます。チューリップの球根には公園管理事務所から配布を受けた球根も含まれております。その後球根に栄養を与えるため数回に渡り除草をします。このよ

うに花壇は年間を通して適切に管理されております。

一方、緑地には広場もあり、グラウンドゴルフの練習場として利用されております。平日の午前中は長寿会の常連が腕を競い合いながらも和気藹藹とプレーを楽しんでおります。プレーの後はティータイムもあり緑地は憩いの場にもなっております。

また、広場は子供達の遊び場にもなっている他、近所の介護施設の入所者の散歩コースの立寄場所にもなっております。この様に、日輪寺緑地は町に住む人々にとつて非常に大切な場所になつております。これからも大事に管理していきたいと思つております。



上宿公園の愛護活動広報

上宿公園愛護会

会長 椋澤 勉

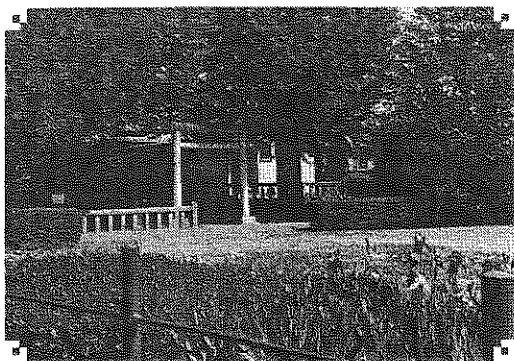
愛護会の活動基本方針に基づき清掃、除草、低木類の剪定の作業等を毎年、実施しています。上宿地区は、荒牧町自治会組織で五地区に区別され、その内の一地区に区別されています。

上宿公園は、国道十七号線のスズキアリーナ前橋荒牧店から西奥に百メートル程入った所に所在しています。公園の北に荒牧神社があり、毎年元旦に初詣を行つて居るため、参拝者の行列が公園に出来ま

す。公園の植栽は、生垣がツツジ・サツキ・ドウダン等、パーゴラにアケビが絡まり、近くにアベリア等の低木があり、これを敷島公園内にある管理事務所からエンジン、のヘッジトリマーやハンマーナイフを借用したり、私物のエンジンヘッジトリマーを清掃の際に持参し剪定作業を行つています。清掃、剪定・除草(器具は各自持参)等の作業を上宿地区に居住し自治会加入者が行つて居ります。この作業の結果、翌年には写真のような季

節に対応した花が咲き乱れていきます。

また、市が提唱している「安心できる公園、大人も子供も心の安らぎを覚える公園」となつて居ることと推察いたします。終わりに、今後、既に高齢化が始まつて居りますが、これが進展していくに伴い公園管理がおぼつかなくなつていくと思慮されるため、市において公園等の管理体制を検討し始めていただけたらと感じて居るところであります。



一年の活動を 振り返り

荒牧幼児公園愛護会

会長 皆川 孝義

公園清掃日への出席者が、少なく残念に思う。皆さんに出席して頂ける様、清掃前日、各家庭のポストにチラシを入れる広報活動を行っている。年々えれば、仕事は出来なくなるのは当たり前前で仕事の量は問題ではなく、出席することに意義がある

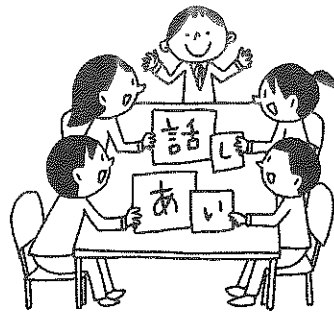
つつじ公園愛護会

会長 柏木 英二

つつじ公園は前橋市東地区南側の下新田町に位置し、大利根第二団地の中央にあります。公園愛護会の歴史は古く、昭和四十六年に大利根第二団地の完成と同時に設立され、下新田町南自治会住民全員で公園の清掃活動を行い、住民の憩いの場となってきました。

公園の面積は約一、四〇〇㎡で、公園の中央に築山があり、ブランコ・鉄棒と共に四十八年経った桜の大木六本とつつ

と思う。作業後、互いに顔を合せ、挨拶し、町内の出来事等を話し合える機会である。これからも広報活動を継続して行く。

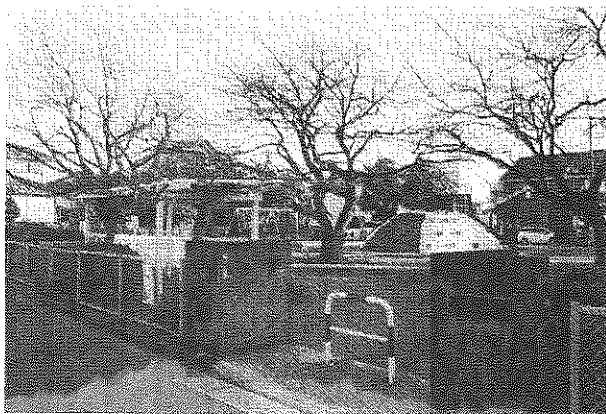


じ・花壇などが取り囲んでおります。春には桜のお花見、夏には町内の祭り会場やラジオ体操会場として大変賑わっております。

公園の清掃作業は、毎年四月から十二月迄九ヶ月間、毎月第一日曜日の七時から約一時間全住民が輪番制で公園の清掃作業を行っております。春には雑草の草取り、夏には藤棚の剪定、秋の落ち葉清掃と大変な作業ですが全世帯が協力して公園をきれいにする活動に取り組んでいます。



◎公園の片隅に、支給されたチューリップ。毎年綺麗と感謝されている。



原町公園愛護会

会長 前田 秀信

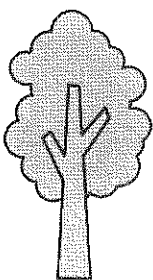
天川大島原町には、四つの公園愛護会があります。

どの公園にもそれぞれの特徴がありますが、最も面積の広い原町公園は、春からスポーツ祭・納涼祭・防災訓練等々、一年を通じて町民の集う行事の開催場所として、地域のコミュニティ形成に貢献する役割も果たしております。

全ての公園で春から夏の雑草の成長が早く、秋から冬には、立木の殆んどが落葉樹である為、公園いっばいの落葉を集め、袋詰めする作業に大変な労力を必要としております。

公園を地域の財産として守り育てていく必要性も、公園を清潔に保ち、気持ち良く使えるようにする為には、定期的な手入れが必要であるとも理解しておりますが、年々住民が高齢化し、それに伴い参加者が減少していく傾向にあるのも現実であります。

原町地区に住む人たちが、少しずつ力を出し合い、「地域の鏡」である公園を今後どのように維持管理し活用していくのか、非常に身近な問題と捉えております。



町内公園の 利活用について

野中町公園愛護会

会長 深谷 茂

野中町公園は創設以来三十年以上の歴史があります。

この公園誕生の発端は、私が昭和四十年代中頃ドイツスポーツ家庭省からの招聘で「世界青少年交流事業」に参加し欧州数カ国を歴訪した折に街中にある公園に子ども向けの遊具として鉄パイプの三角形の骨組みにロープを編み込んだ遊具を数多く見ました。帰国後、市教育委員会や自治会に報告し、現在の公園に同型の遊具を設置し、子どもたちが長く楽しんで利用していました。その後、市から「農村公園設置」の提案があり、いち早く受け入れ新設公園が誕生した経緯がありました。現在は遊具等で三連の低鉄棒、二連のブランコ、滑り台、砂場、木馬、ベンチ四基と公園灯や手洗い、トイレも設置され狭いながらも町内や地域の子どもたちを中心に、楽しく有効に利用されています。

一方、地域社会の住民の年齢構成が高齢化傾向になり、高齢

者の利用も配慮した公園の利用形態も検討課題として上げられます。公園利用形態の複合化が期待されているのだと思います。が、のどかさや安全環境の確保の両立は多くの課題があるでしょう。

理想の利用形態をデザインすることに安全というハードルがあり、熟慮検討に時間とエネルギーが必要でしょう。老若で同じ場所を利用することの検討も避けては通れない課題かもしれません。

公園は地域の住民で楽しく利用して頂くのが大事です。それには、公園は安心・安全な地域空間として誰にでも利用・活用が可能な保護された場所として管理（こども達が遊ぶために除草剤の散布を避ける）されるよう配慮がもとめられるでしょう。

現在前橋市内には四〇〇余の公園があると聞き及んでいます。これを安全に維持確保し有効活用していかけるか課題がよぎります。公園の基準まで含めた再構築も視野に入れて理想と現実を勘案しながら将来構想を考えることが求められそうです。公園の利活用設計図を検討するのも楽しみの一つとして受け止めたいです。

我が町敷島町 公園愛護会活動

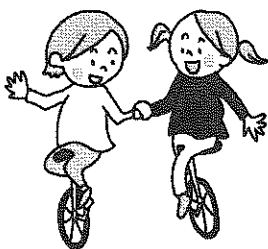
敷島町公園愛護会

会長 大澤 孝志

敷島町公園と聞くと正田醬油スタジアム群馬や上毛新聞敷島球場のある松林の大きな公園を思い浮かべると思いますが、敷島町公園は、敷島公園ばら園西方に位置する縦六十メートル横四十メートルの小さな公園です。

ですが、春には桜の巨木が満開の花を咲かせ、ブランコ、滑り台等遊具や、東屋やベンチを配するなど、小さいながらも一通り整った公園で、町民の憩いの場であり子供たちの遊び場として活用されています。

年始には、どんど焼き、夏には、夏祭り会場など、町内のイベント会場としても多目的に利用され、町民の交流の場として、親しまれています。



活動報告 清掃と再生と 癒し

日の出公園愛護会

会長 松村 隆

日の出公園は四月から九月まで毎月六回各組の町民により、除草を行っています。愛護会会員五名で春と秋に低木の剪定をし、交通の妨げとならないよう、はみ出した枝の刈り込みを実施し、美観を保っています。十月には、中学生が枯枝拾い、除草、落葉片付けを行ってくれます。十一月には、子供会育成会と親御様がチューリップの球根の植付と落葉片付けを行い、年間十回清掃を実施し管理しています。

又、古くなったコンクリート製の滑り台を撤去し新形の滑り台と怪獣形の遊具に換えて頂き、子供達が楽しく使っております。公園内にコンクリート壁が三本あります。造園した当時から灰色のままであったのを子供会育成会と親御様が表面に北風と太陽を、裏面になかよしモンスター絵の絵を画きました。明るく楽しく、町民の心を癒し和ませています。

「福寿会で守る三角花壇」

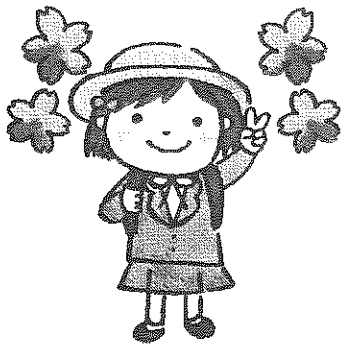
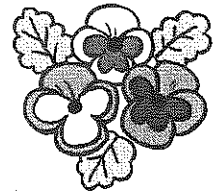
高花台一丁目線下

緑地愛護会

会員 川口 ユキ工

高圧線下の緑地の一角にある小さな「三角花壇」それが私達福寿会の活動の場です。今は種から育てたパンジーと葉ポタンが冷たい風に吹かれて頑張つて咲いています。六十人の会員を三つに分けて草むしり当番をし、花の大好きな役員さんの好意で種から育てた苗を植えて、役員が当番制で水やりをし、街角花壇の認定を受け、市から肥料の助成を受けて続いています。

芳賀小の下校時間に花壇に居ると、一年生が声をかけてくれ、一丁目の自慢は「三角花壇」と先生に言ったと告げてくれました。きつと授業で「町で自慢出来るものは？」と聞かれたのでしよう。とても嬉しかった思い出です。又、目の前に週二回移動販売車がやって来ます。買い物に来た人達からも「きれいなね」と言っていただけで嬉しく思っています。これからも高齢な私達ですが出来る範囲で続けていきたいと思っています。



川曲町緑地

公園管理

川曲緑地愛護会

会長 唐沢 泰夫

樹齢五十年以上の桜の巨木に囲まれた緑地公園で、愛護会の二十数名で手入れや管理を行っております。緑地公園には老人子供身障者たちが来園して様々な遊びや、運動など行ないます。来園者たちが自由に公園を利用するためには危険の防止を図らなくてはなりません。愛護会で出来る最小限の防止策として、ゴミの整理、危険物の除去などを行っております。



公園と

調整池の活動

東ロースタウン公園愛護会

副会長 黒岩 清源

東ロースタウン自治会の公園愛護会活動は、年間を通して八回行っています。四月から始まり、十一月には終了します。活動内容としては、四・五・九・十月は月三班体制で公園を中心に草取りをします。そして六・八・十一月は十班体制で街路樹を含めて歩道も清掃しています。きれいになった公園や調整池で子どもたちが元気な声で遊んでいます。

しかし、愛護会活動の中に課題もあります。それは一周四〇〇メートル以上ある調整池の草刈りです。調整池は広いため、夏の草の成長が早く、刈ってから二週程度で前と同じ状態になってしまいます。この草刈りが一番大変で課題になっています。広々とした場所で子どもたちが元気にスポーツに興じたり、また地域の方々が散歩やウォーキング等を楽しんでもらうためにも、これからも自治会で管理を継続していきたいと思えます。

十五年目を迎える 「荒牧中央公園愛護会」活動

荒牧中央公園愛護会

会長 小泉 勲

一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

平成十六年三月に土地区画整理事業で創設された公園です。面積は、一三、〇〇〇㎡で東京ドームのグラウンド部分と同じ広さです。園内は、八、〇〇〇㎡のスポーツ広場と散歩道が整備された散策園路があります。

公園を適正に維持管理するため平成十六年三月十二日に公園愛護会を設立しました。役員は、地元地区の自治会関係者、使用団体の責任者など三十二名でした。

現在の活動状況は、毎年五月から十一月までの日曜日（五月第二、六、七月第一）の午前七時から除草、清掃及び樹木の剪定を行っています。参加者は、年々増加しています。一月月当たりの平均人数で見ますと、平成十七年二十三、三人／月、平成三十年百四十三、九人／月と六、二倍増えています。

愛護会が設立されて三月で十五年になります。今後も地域住民のふれあいの場として親しまれ愛される公園の環境整備に



文一松前愛護会活動報告

文一松前愛護会

会員 遠藤 茂夫

文一松前愛護会は、町民と自治会役員の協力の下、文京町一丁目の松前公園を中心に活動しております。昨年は、四月から十月まで、月二回公園の手入れを行いました。

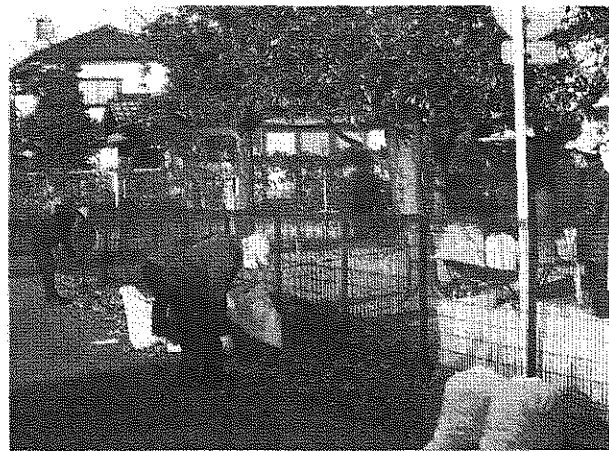
公園には大きなけやきの木が八本あり、夏は木陰が涼しく、秋には美しい紅葉を楽しめます。しかし晩秋には、大量の落葉が舞い、十一月と十二月は落葉処理を主に行っております。

(写真参照)

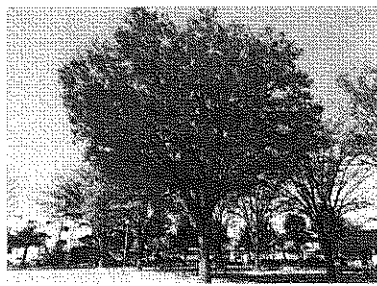
これらの愛護活動に延べ二百六十九名の方々の参加をいただきました。又、町民サークルのグラウンドゴルフクラブの方々も毎週、練習の度、公園の手入れに協力していただいております。さらに月一回、老人クラブ会員による清掃活動も行われております。

公園は、緑と憩いの場所ですが、冬は前橋特有の強い北風が吹き、砂埃が舞い上り、近隣の方から、なんとか改善できないかとの要望もありました。今回

は、回りのフェンスに防砂ネットを設置し、改善の努力をいたしました。



松前公園清掃作業



松前公園の紅葉したけやきの大木

公園誕生より 開園十年を顧みる

天川原中央公園愛護会

会長 寺沢 勝利

我が町の公園は地域の区画整理事業により、誕生した街区公園です。公園予定地が提示されて以来、自治会やゲートボール愛好会などの人達により管理され草取りや清掃が長い間行なわれていました。区画整理も終了し、まもなく市より公園の概要などの提示や説明会などが自治会を中心に開催されました。多くの住民に愛される公園になるよう討議された末、長年待ち望んだ「フイットネスサーキット」など備えた公園が完成しました。

れあいには、収穫の喜びなど良い体験をしていると思います。また、花壇の会では、園内花が絶えないよう、気を配りながらの作業の他、会員の親睦をはかる為に、日帰り旅行などを計画し愛護会活動が活発になるよう努めています。毎月の清掃、除草作業も住民の交流の場とし

て、短時間で効率のよい作業を目標に進めているが、広い公園なので参加者が増えるよう願っています。開園十年、今では樹木も成長し園内一周の遊歩道、トイレ、数台の駐車場も整備されました。今後まもなくお年寄りまで愛され親しまれる公園になるよう願ってやみません。

人々の憩いの 公園を目指して

赤石公園愛護会

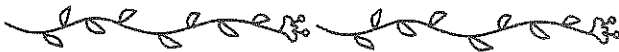
会長 井野 圭吾

私達の愛護会が担当している赤石公園は、前橋ゴルフ場の近くにあつて周りの環境も良く、利用しやすい公園です。年間を通して天気の良い日などは、園内に設置してあるスベリ台や鉄棒、ブランコなどを使用して子供達が賑やかに楽しんでいる光景が見受けられたり、小さいお子様を連れた家族連れの人達も、憩いの場所として楽しいひとときを和気藹藹と過ごしています。

また、憩いの場所や、ちよつとした休憩場所として訪れる人々が利用しやすい公園を目指して、私達の愛護会は、年間六回の草刈り等の清掃活動を行っています。今後、人々が気軽に公園を利用できるよう、地域住民の協力を得て頑張っていきたいと考えています。



玉原高原 7月18日



若宮町四丁目 二つの公園

桃の木河畔緑地

若宮愛護会

若宮町四丁目愛護会

会長 中島 聖一

若宮町四丁目には二つの公園があります。自治会では五月、七月、九月、十一月と年に四回時期に応じた清掃活動をしています。自治会役員、老人会、グラウンドゴルフ利用者の皆さんや地元にある企業の方々等多くの団体のご協力を頂き四十名位の参加者で公園清掃を実施しています。

河畔緑地公園は桃の木川に沿った幅の狭い遊歩道的な公園になっており、遊具の設置は僅かですが、春は桜の花を、初夏は新緑、秋は落葉樹の葉が黄色や赤に色付き散歩道として季節を味わえます。

若宮町四丁目公園は町内の人々の憩いの場所、小さな子供を安全に遊ばせる家族の場所、子供達のサッカーやキャッチボール、年配の人達がグラウンドゴルフを通して親睦をはかる場所として活用しています。

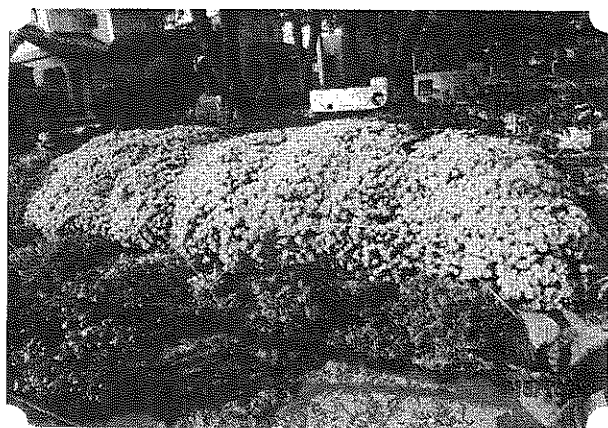
更にこの二つの公園では地元にある小・中学校の子供達が社会貢献活動として積極的に植花・清掃活動をしていることもお知らせしておきます。



城川公園愛護会

会員 吉澤 信明

私達は城川地区にある南公園・北公園にて、花壇の造成を行って行きます。春はチューリップ・水仙・シヤクヤク・芝桜・ユリ等数々の花を咲かせ、夏は向日葵・百日草等夏に適した花を育て、秋は菊・コスモス・サルビア等、冬の季節は寒冷期なので、葉ボタン・パンジーと寒冷に強い種類で花壇を飾るよう管理し、地域の皆様に楽しんで頂いております。



三月には総会を開催し、年間の活動総括、新年度活動方針の協議を行い決定します。実作業は、耕運や花苗の植え付けは全員で行い、日常の手入れについては会員を概ね二人一組に組織し一週間単位の年間担当カレンダーを作成して、除草・水やり・追肥料を行っています。南北公園全体の除草・清掃については地域の全体を組み分けました人達で月一回清掃活動を行っています。

駒形緑道第四愛護会

四十一組 組長

荒井 清司

昨年四月から、四十一組緑道公園の役員になり、駒形町の住民の憩いの場である緑道公園、緑道の草刈りや、木々の手入れなどを行っています。色々な花が咲き誇る季節にランニングをする住民や子供の運動する元気な姿、笑顔が見え、大変嬉しく感じます。

四十一組の子供から大人まで、一年間草刈りをしていただき、綺麗な緑道公園になっています。

これからも住民一体となって頑張っていきたいと思っております。



足軽茂木公園 愛護会の現状

足軽茂木公園愛護会

足軽町自治会副会長

大竹 慎二

足軽茂木公園愛護会は、自治会の役員と老人会員、公園を利用しているグラウンドゴルフ愛好会員等で構成されています。本愛護会は足軽茂木公園（総面積二〇六四〇㎡）の半分以上に当たる一一三五六㎡を担当しています。残りの部分は、茂木町の愛護会の担当になっています。

毎年四月から十月迄数回の除草作業を行っています。広場の周りのサツキの植え込みの中はエンジン式の刈払機では、植栽を傷めてしまうので手作業で行っています。広場の中の雑草は刈払機や自走式草刈機、乗用草刈機などで刈っています。しかし、グラウンドゴルフを行う広場の中は広いので、草刈機を用いても時間がかかり午前中に作業が終了しないため、自治会役員やグラウンドゴルフ会員が時間をみて全体作業の合間に、ある程度除草することも多いのが現状です。

除草した草は、ゴミ袋に入れて市の清掃車で回収していただくか、軽トララックに積んで地域内にある灌漑用の沼の縁の共有地に運び込んでいます。

本年度の猛暑により、草の成長が著しく、サツキの植栽部分が大変伸びてしまい、手がつけられない状態になってしまったため、市当局に相談し、専門業者により除草していただくことができ大変助かりました。

足軽茂木公園は、グラウンドゴルフ広場やゲートボールコート、子どもの遊び場、アスレチック器具、駐車場やトイレ、水道設備などが大変良く整備されており、災害時の第一次避難場所にも指定されている素晴らしい公園です。この施設をいつまでも、美しく整備された状態に保つように愛護会一同今後とも尽力して行こうと考えています。

淡嶋緑地愛護会

会長 笹澤 春雄

上青梨子町の淡嶋緑地は上越線群馬総社駅から西へ三十分程歩いて、関越自動車道の側道に面した千二百㎡の小さな公園緑地です。高速道路ができる以前は杉の原木が生い茂る鎮守の森でした。淡嶋神社の縁日の時は多くの屋台が立ち並び大変賑やかであったと聞いています。

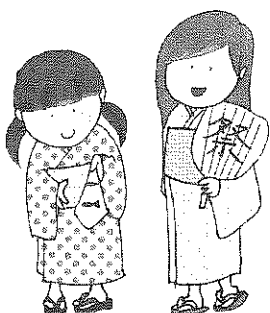
上青梨子町は昔から行事の多い地区で、現在は今の淡嶋緑地を中心に行われています。夏の盆踊りは、集会所に集い一か月



程、保存会のお年寄りの方が指導してくれます。祭りの準備のため、大きな櫓が組み立てられ、四方に提灯と電気配線が張られます。櫓には太鼓・笛など囃子方が十名乗り、其の周りを老若男女が踊ります。

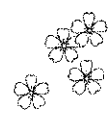
秋祭りは、町内を巡行する櫓みこしを大勢の人で組み立てます。当日は、小学生が中心になつて淡嶋緑地内を元気に練り歩き、町内の巡行に出発します。屋台は、バザーは子供会の人達を中心になつて、田中屋の焼まんじゅう四百本・焼きそば二百五十食・フランクフルト百五十五本・ラムネ百本、用意した物は売り切れになります。

そのような行事を通し、子供からお年寄り迄世代間交流が行われています。淡嶋緑地の清掃は自治会が中心になつて実施していますが、桜の枝の伐採、大量の桜の落葉処理に市の方に大変お世話になり感謝しています。





「春爛漫を夢見て」



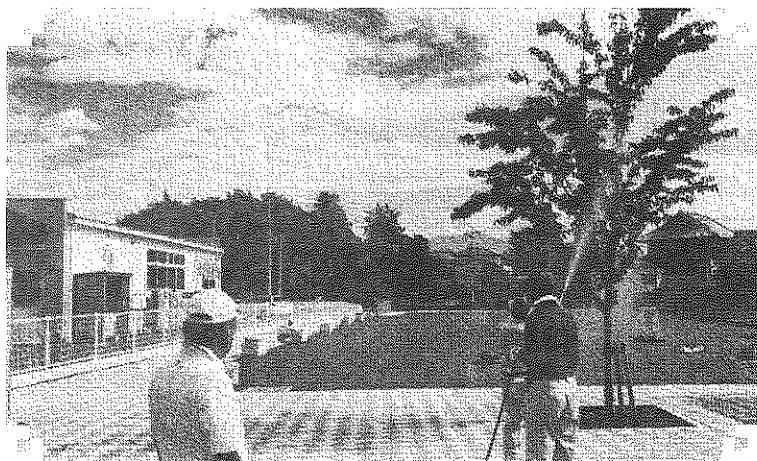
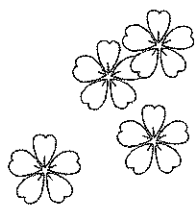
岩神さくら公園愛護会

会長 上野 厲治

平成二十九年開園の春植樹一年で健気にも花を付け、翌三十年には細やかながら各枝に花が咲いた桜も写真の様に成長してきました。

私達「岩神さくら公園愛護会」のメンバーは月例の除草やゴミ拾いの他、昨夏は、猛暑対策の給水を行い春と秋にはアメヒトの駆除も続けてきました。

元号が変わる折念すべきこの年の春、枝全体に満開の桜花を夢見て皆手入れに励んでいます。
(写真は平成三十年八月二十五日)



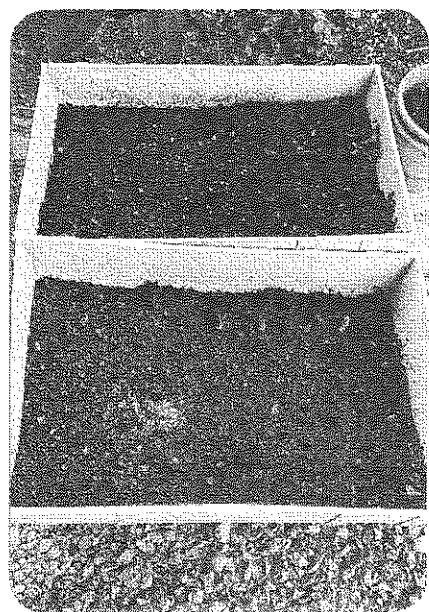
公園愛護会の活動

南堂木公園愛護会

会計 高橋 利治

私たちの公園は、区画整理により出来た、また新しい公園で、年二回春秋の雑草取りで、きれいな公園を保っています。

管理は隣接の組長三人が管理責任者として計画の立案や道具の購入等を行っています。年に二回の草むしりでは少ないという声もありましたが、自治会での、町内一斉の清掃も春秋と二回やっていますので、公園愛護会としては、その前後の二回で済ませています。



チューリップの植付け

自治会での一斉清掃の際も、自然と皆公園に集まってきて行われています。多い時には百二十名、通常七十〜八十名の参加で皆一生懸命作業していただいているので、毎回お茶を配り労っています。

又、公園内の美化運動として、市から頂いたチューリップの球根を植え、花を咲かせています。通りがかりの人の目を傾け、いつまでも、きれいな公園にしていきたいです。



公園開設その後

龍蔵寺ふれあい

公園愛護会

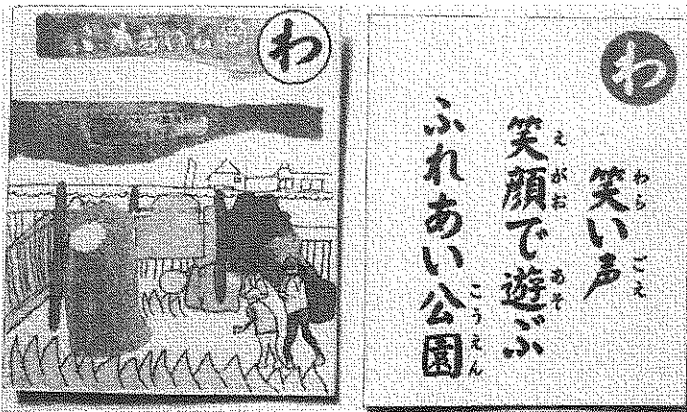
会員 金子 本次

平成二十八年四月に開設した当公園は、まもなく満三歳になります。愛護会をはじめ多くの皆様の愛情により育つてきております。特に猛暑の中の除草は大変な作業です。

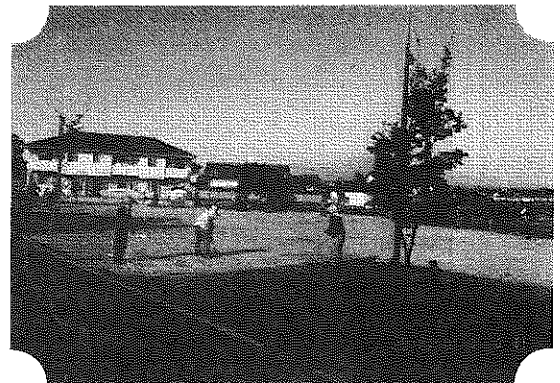
町内外の多くの方が、赤城山を望む白川の豊かな自然に包まれたこの公園で、手足を伸びびと動かし、休息・談笑等をして、交流を深めております。こうした中、特筆すべき二点についてお伝えいたします。一つは自治会広報「りゅうぞうじ」の創刊百号記念プロジェクトの一環として「龍蔵寺町かるた」がこの程制作され、その中の一札に「㊦ 笑い声笑顔で遊ぶふれあい公園」が採用されました。このかるたと共にこの公園は未長く住民などに愛され続けられることでしょう。

もう一つは、楽寿会（老人会）のグラウンドゴルフです。愛好者は四十名余りで各種大会に参

加しております。しかし期待されながらも終つて見ればいつも下位に沈んでいます。毎週二回この公園での「猛練習」の成果は発揮できず非常に残念なことです。いつの日か、この道場（公園）に「お蔭様」でとお礼をいえるようになってもらいたいと念願しております。



龍蔵寺町かるた



グラウンドゴルフの練習風景

朝日町三丁目公園愛護会

峰岸 祥子

昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言う言葉があるけれど、意外とご近所様のことを知らない。そのうえ住宅を建て替えて新しい住人が入居したりすればなおさら何処の方かわからない。まことにイザのときのことを思うと心細い。顔見知りになりおおよその家族の状況がわかるようになるには日にちがかかる。

最近、朝日町三丁目公園にて、ご近所総出で除草清掃に精を出した。このごろ犬を散歩させる者のマナーが良くなったのか犬

の糞は全く見当たらなくなったが、タバコの吸殻のポイ捨てが目立つようになってしまった。落葉樹も遠慮なく葉を落とす。日本むかし噺ではないが狸ならぜんぶ小判に変えるだろうに。街路によつては銀杏の街路樹が沢山あって秋にはまっ黄色の落ち葉が降り注ぐ。清掃作業が終了してから皆でコーヒーを飲みに行こうと言うことになった。楽しい朝のひとときであった。こんな事が度重なつてご近所と親しくなつていくのだろう。お隣の子供さんも「おばさん、雪が降つたら雪かきするからね」と言ってくれるのでそれを楽しみに、通勤者の苦勞も顧みず「早く雪が降らないかな」と無責任なことを考えて降雪の日を待っている。色々な機会を捉えてコミュニティ内にしたいたいものと思う。



新しい仲間

新設公園愛護会紹介

平成三十年度前橋市公園緑地愛護会連合会に加入しました。よろしくお願いいたします。

(前号掲載以降)

平成三十年度実績 六団体

荒牧幼児公園愛護会

会長 皆川 孝義

大利根緑地公園南愛護会

会長 岡田ひずる

東ふれあい公園愛護会

会長 福島 昇

滝川ミニ公園愛護会

会長 眞塩 文明

桂萱西部公園愛護会

会長 茂木 伸夫

堀越町自治会下組街路樹愛護会

会長 疋田 好男



緑一面の広大な

河川敷公園

利根川総社立石

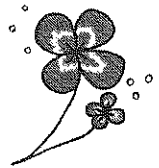
緑地公園愛護会

会長 山田 昇

私たちの利根川総社緑地公園は、群馬総社駅の北に位置し、東側には利根川が隣接しています。面積は二、四haあり大変広い公園となっております。

公園の管理は、三地区(桜ヶ丘、植野、立石)の各団体の役員が中心となって活動しています。全体で行う清掃作業は年二、三回で約五十、六十名が参加しており、その他必要に応じてグラウンドゴルフ愛好会の皆さんが適宜実施しております。お陰様で住民の憩いの場として幅広く活用されており、地域の方に大変親しまれている公園です。一年交代で代表者が輪番制になつており三年に一度当番組が総会を実施し、その年の反省等今後の運営方針について協議し、より良い公園管理活動を目指しています。

これからも未長く三地区連携



して地域の憩いの場として親しまれる公園であり続けるよう継続していききたいと思っております。



編集後記



はじめに、会報「みどりのひろば」第四十三号を発行するにあたり、ご多忙の中、原稿や写真をお寄せくださいました方々に厚くお礼申し上げます。全ての原稿を掲載するに当たり原文の一部を修正、簡素化等させて頂きました事、写真の一部しか掲載できなかった事をご容赦願います。

会員の皆様には、日ごろより公園の維持管理・美化活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。今後引き続き、安心安全に利用することのできる公園、緑地、街路樹の愛護活動にお力添えいただけますよう、よろしくお願いいたします。